

特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム
2007年度第12回常任委員会議事録

1 日時：2008年3月18日(火)午後4時から午後7時5分まで

2 場所：東京都千代田区大手町1-6-1大手町ビル2階266区JPF事務局

3 出席者の確認

常任委員総数6名のうち、6名の出席をもって常任委員会の成立要件である3分の2以上の出席が満たされている旨の報告がなされ、本会の成立を確認した。

常任委員

NGOユニット：大西健丞

NGOユニット：折居徳正

外務省：伊藤直樹

日本経団連：斎藤仁

財団：加藤広樹

学識経験者：中村安秀

理事

代表理事：長有紀枝

オブザーバー

外務省：寒川、坪田、青山

AAR：堀江、坪井

ICA：伊藤

IPAC：池上

JADE：田中、白川

JEN：平野、大野

KnK：守谷、栗林

PWJ：山本、明城、柴田

SCJ：宮下、山本、吉田

WVJ：坂

学生ネット：古谷、茅野

日立プラントテクノロジー：福田

4 座長の選出

本会座長として、大西常任委員を全会一致で選出した。

5 第一部：クローズド・セッション審議事項(事業計画)

- (1) 第一号議案：イラク避難民人道支援(ヨルダン)にかかる事業計画の承認
審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

KnK：「フヘイス及びアズラックにおける青少年への人道・教育支援2」(政府支援金)

承認。

NICCO：「ザルカ県ザルカ市における心理社会的ケアとカウンセリング事業」（政府支援金）

承認。ただし、事務局が予算設計上の精査をすること。また、本事業はUNHCRの資金を併用した共同事業であるため、UNHCRとの契約書を事務局へ提出すること。

なお、常任委員会は、JPF以外の資金を併用した共同事業を推奨していくことを確認し、会計の透明性の観点から、その予算執行の按分に関するルール作りの必要性を確認した。

(2) 第二号議案：スリランカ人道支援にかかる事業計画の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

JEN：「バティカロア県における帰還民支援事業2」（政府支援金）

承認。ただし、経費計上項目に関し、事務局と整理すること。また、添付書類に関する説明を追記すること。

SCJ：「スリランカ東部における国内避難民および帰還民支援初動調査」（政府支援金）

承認。ただし、現時点で初動調査を実施する必要性を追記し、事務局へ提出すること。

(3) 第三号議案：パキスタン地震被災者支援にかかる事業計画の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

KnK：「北西辺境州シンカリ町における青少年への教育及び生活支援」（民間資金）

継続審議。

本事業は外務省NGO連携無償(N連)の資金を併用した共同事業であるため、予算執行の按分方針およびJPF事業とN連事業の区別を明確化するための執行管理対応策についての追加資料を添えて、メール審議に附すこと。

(4) 第四号議案：ペルー地震被災者支援にかかる事業計画の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

ICA：「チンチャ州都市部における炊き出し所の運営支援事業」（民間資金）

事務局より、助成審査委員会による「再提出」の答申が報告された。

JPF：「ペルー地震被災者支援現地実態調査事業」（民間資金）

承認。

6 第一部：クローズド・セッション審議事項(組織運営)

なし

7 第一部：クローズド・セッション協議・報告事項(組織運営)

(1) 2008年度のJPF運営について

2008年7月以降の理事会の構成等、JPF運営について協議した。

8 第二部：オープン・セッション審議事項

(1) 第一号議案：2007年度第11回常任委員会議事録の承認

事務局より、2007年度第11回議事録(案)が上程された。審議の結果、同案をもって当該議事録とすることを全会一致で可決した。

(2) 第二号議案：スマトラ島南西沖地震被災者支援にかかる事業報告および収支報告の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

NICCO：「スマトラ島における緊急医療支援事業」（政府支援金）承認。

- (3) 第三号議案：パキスタン水害被災者支援にかかる事業報告および収支報告の承認
審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

SCJ：「バロチスタン州ケチ地区における緊急支援物資供与事業」（政府支援金）承認。

9 第一部：オープン・セッション協議・報告事項

- (1) スーダン南部人道支援にかかる現地調査の報告について

長代表理事より、スーダン南部人道支援にかかる現地調査の報告と以下の提言がなされた。
現地の実態に応じたドナーとしての援助戦略の必要性

現場での調整、情報発信の必要性

日本のNGOと国際NGOとの違いを踏まえた対応の必要性

紛争後の事業展開国における社会・文化・政治・歴史的背景に関する理解の重要性

モニタリング実施体制の改善

また、スーダン人道支援WGを代表してWVJ坂氏およびPWJ明城氏より、スーダン南部人道支援の今後の展開について同支援継続の要請がなされた。

外務省より、同支援継続の可否判断にあたり検討を要する観点として、以下の指摘がなされた。

複合的人道危機に対するJPF支援は1年間を原則とすることが本会において確認されており、その原則との関係を整理する必要がある。

JPFを継続する場合、既にN連による支援事業を展開しているJPF参加NGOとそうでない他のNGOとの整合性をとる必要がある。また、継続とした場合、緊急支援を要する新規事象へのNGOの対応能力が保持できるか、同支援にかかる数年間に渡る資金ニーズへの対処および事務局の体制について懸念される。

NGOユニットが求めるJPFの中間組織としての役割と将来像を勘案する必要がある。

NGOユニットを代表してNICCO折居氏より、複合的人道危機への対応としてNGOユニットで包括的に検討するため、まず、スーダン南部人道支援WGと関連事項を有するイラク人道支援WGが合同協議を行いたい旨の報告がなされた。

協議の結果、常任委員会は、同支援継続の可否判断について、継続協議とすることを確認し、スーダン人道支援WGを含むNGOユニットに対し、提案を要請した。

- (2) 2007年度第3回理事会の報告について

長代表理事より、3月6日午後4時から理事会を開催し、2008年度事業計画、2008年度収支予算、就業規則および付属規程、ならびに給与規程を承認した旨の報告がなされた。また、理事会における指摘事項の報告がなされた。

- (3) 2008年度NGOユニット正副代表幹事について

NGOユニットを代表してNICCO折居氏より、3月18日、NGOユニット全体連絡会が開催され、以下4名が2008年度NGOユニット正副代表幹事に選任された旨の報告がなされた。

代表幹事：堀江良彰(AAR)

副代表幹事：橋本笙子(ADRA)、折居徳正(NICCO)、木山啓子(JEN)

常任委員会は、NGOからの常任委員が4月1日付で堀江良彰氏と橋本笙子氏に交代することを確認した。

(4) 経営戦略委員会の進捗報告について

事務局より、前回常任委員会における指摘を受け、議論を取りまとめるスケジュール案が提示された。協議の結果、5月29日開催の2008年度第1回理事会における報告に向けた同スケジュールに沿って、経営戦略委員会および常任委員会で議論を進めることを確認した。

(5) 企業との連携報告について

事務局より、書面をもって、企業との連携について報告がなされた。

(6) JPF学生ネットワークの活動報告について

学生ネット古谷氏より、以下の報告がなされた。

2月11日、フリー・ペーパー「ブラウ」第4号を発行したことの報告

3月1日、国際協力における社会起業家の役割をテーマとするシンポジウムを開催し、300名余の参加者をもって盛会のうちに終了したことの報告

新入生歓迎イベントとして、JPF各ステークホルダー訪問を企画していることの報告

(7) 書面による報告について

事務局より、書面をもって、以下の事項の報告がなされた。

政府支援金および民間資金財務状況の報告

事業計画変更の報告

メール審議結果の報告

JPF事務局審議結果の報告

メディア報道の報告

JPFの活動報告と予定の報告

(8) 次回常任委員会の開催日時・会場について

次回常任委員会は、2008年4月22日午後4時よりJPF事務局において開催することとした。

(9) イラク人道支援WGの進捗報告について

イラク人道支援WGを代表してJEN平野氏より、イラク人道支援(イラク国内)およびイラク避難民人道支援(ヨルダン)、イラク難民人道支援(シリア)にかかり、右支援を一本化したうえで、支援期間の指標として2010年に予定されているイラク議会選挙を設定する旨の提案がなされた。NGOユニットを代表してNICCO折居氏より、複合的人道危機への対応として、まず、イラク人道支援WGとスーダン南部人道支援WGが合同協議を行いたい旨の報告がなされた。

また、JENとして平野氏より、イラク難民人道支援(シリア)にかかり、事業計画を1年間とする申請が可能となる対応計画策定への要請がなされた。

(10) NGOユニットによるODA改革提言WGの進捗報告について

NGOユニットによるODA改革提言WGを代表してNICCO折居氏より、外務省国際協力局政策課長でもある伊藤常任委員とJICA担当部局と意見交換を行い、包括的かつ中・長期的な支援事業の展

書式第6号

開を視野に入れたJPFとJICAの連携について、情報共有と調整機能に関する具体的な検討を進めていくこととした旨の報告がなされた。

(11) 助成カテゴリー変更申請について

JADE田中氏より、助成カテゴリー変更申請に関する事務局の対応について、疑義申し立ての説明がなされ、次回以降の常任委員会で協議することとした。

以上